

【専門基礎分野】

科目名	解剖生理学Ⅲ (脳神経、感覚器、運動器)	講師名	岡山医療センター医師A (12)	学 年	1	履 修 期	第1学期
単 位	1 単位		岡山医療センター医師B (6)				
時間数	30 時間		岡山医療センター医師C (8) 岡山医療センター医師D (4)				
授業概要	身体の構造と機能を系統的に理解し、また、生命維持のメカニズムに関連した生理機能と構造との関連性を学ぶ。						
授業科目目標	1. 筋、骨格のしくみと機能について理解できる。 2. 外的刺激を受容するしくみと刺激に応じた反応のしくみについて理解できる。						
授業計画	<p>1～6回：骨格・筋系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人体の骨格 2) 骨の形態と構造、組織と組成 3) 関節 4) 体幹の骨格と筋 5) 上肢の骨格と筋、下肢の骨格と筋 6) 頭頸部の骨格と筋、骨格筋の収縮機能 <p>7～9回：中枢神経系の構造と機能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 神経系の構造と支持細胞 <ol style="list-style-type: none"> (1) ニューロンでの興奮の伝達 (2) シナプスでの興奮の伝達 (3) 中枢神経の外観と末梢神経線維の構造 2) 脊髄と脳 <ol style="list-style-type: none"> (1) 脊髄の構造と機能 (2) 脳幹・小脳・間脳・大脳・脳室と髄膜の構造と機能 (3) 脳脊髄液の循環 <p>10～12回：脊髄神経と脳神経の構造と機能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 脳の高次機能 2) 運動機能と下行伝達路 3) 感覚機能と上行伝達路 4) 痛みの分類と疼痛の発生機序 5) 体温とその調節 <p>13～14回：感覚器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 眼球の構造と視覚 2) 耳の構造と聴覚・平衡覚、味覚と嗅覚 3) 皮膚の構造と機能 <p>15回：まとめ 1H 終了試験 1H</p>						
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能[1] 解剖生理学, 医学書院.						
参考書	1. 美田誠二：からだのしくみが目で見てわかる 得意になる解剖生理, 照林社.						
学生へのメッセージ	人々の生活を支える看護を実践するためには、人体の知識が不可欠です。看護学生にとって人体の構造と機能を理解する上で、解剖学・生理学の学習は大変重要です。日々の予習、復習をしっかりとって講義に臨んでください。						